

秋季
県高校野球

第5日

秋季東北地区高校野球県大会は第5日の23日、青森市の県営球場、八戸市長根公園野球場、弘前市はるか夢球場、六戸メイプルスタジアムで3回戦8試合を行い、ベスト8が決まった。弘前工は1点を追う八回、尾崎、喜西の連続適時打で逆転し、八工大を4-3で破った。弘前南は小刻みに加点し、五所農林に勝利。八工大は三沢との投手戦を制した。

このほか八戸、弘前学院聖愛、青森山田、八戸学院光星、聖ウルスラがそれぞれコールドで勝ち上がった。第6日の24日は長根公園、はるか夢の2球場で準々決勝4試合を行う。

（本紙取材班）

光星 11安打11得点

大湊 打線が沈黙



【大湊一八学光星】計10三振を奪い、無失点に抑えた八学光星先発の森田一長根

【評】八学光星が11安打11得点で大勝した。初の勢いを止められなかった。三上の2点適時二塁打。

大湊は無安打と打線が沈黙。投手陣は相手打線に抑えられた。

森田躍動10奪三振

○：八学光星は背番号13の変則左腕・森田が躍動した。横手から130キロ前半の直球と、チェンジアップやスライダーを丁寧に投げ分け、大湊打線を翻弄（ほんろう）。「コースを意識して一球一球を大切に投げた。要所で力を発揮できた」と振り返った。

今大会から背番号を手にし、この日が公式戦初先発。計10三振を奪い、無安打無得点に抑えたものの一緊張して四回に四球を出してしまっただけ。走者を出さないように心がけていたのに」と悔しかった。

次の登板へ向け「今日よりも切れのある球を投げ、勝利に貢献したい」と力を込めた。

打などで4点を奪うと、三回にさらに3点、四回に2点を追加。五回には竹田が2点本塁打を放ち、コールド勝ちした。先発の森田は5回を投げ、毎回の計10奪三振と好投。